

小学校×漆×かめおか霧の芸術祭  
「こどもうるし体験プロジェクト」

～霧空に飛ぶ、金色にきらめく 漆塗り竹とんぼを作ろう～

子どもたちに日本の伝統的な漆工芸を知ってもらうため、

漆塗りの竹とんぼに金箔を施す特別授業を

「かめおか霧の芸術祭」が2019年から行っています。

今年度も京都市立芸術大学の漆の先生や学生と一緒に、

3つの小学校(畑野・曾我部・吉川小)で開催しました。

3/6(日)のボンボンマルシェでは、漆にまつわるワークショップや

クイズ大会なども行います。



bon bon

marché

開かれたアトリエではマルシェを同時開催

SDGs 推進の拠点「開かれたアトリエ」では、

かめおか霧の芸術祭の企画の一つ「ボンボン マルシェ vol.3」が3/6(日)10時から16時まで開催されます。

「循環」をテーマにしたマルシェで、今回は市内の和菓子屋さんのお菓子が勢ぞろいするほか、

アーティストによる服のお直しや獲れたてイチゴの直売なども!

シルクスクリーンのプリントワークショップにもご参加いただけます!

詳細はかめおか霧の芸術祭のHPやInstagramをご覧ください。



開かれたアトリエとは

かめおか霧の芸術祭の取組が2020年に内閣府から自治体SDGsモデル事業に選定されたことを機に市役所地下のレストランをSDGs推進の拠点としてリノベーションしたスペースです。

土日祝を含む毎日9:00~17:00までどなたでも御利用できます(年末年始を除く)。



かめおか

こども霧の芸術祭

日時 令和4年3月4日・5日・6日

午前9時から午後5時まで

最終日は午後4時まで

場所 開かれたアトリエ (亀岡市役所地下1階)

故郷の魅力

アートの方で見つける

Illustrated by yuko kimoto





# タブレットによるデジタルアート作品の展示

市内小・中学校による共同作品の展示



主催

かめおか霧の芸術祭実行委員会  
 亀岡市  
 亀岡市教育委員会



今回の展示会は「かめおか霧の芸術祭」の取組の中で、アーティストのYUKO KIMOTOさんが亀岡をテーマに描かれた大きな絵画を学校教材として活用することで、子どもたちに亀岡の魅力を再発見してもらおうと「亀岡市みらい教育リサーチセンター」が企画運営し「かめおか霧の芸術祭実行委員会」の支援のもと実現したものです。絵画をデジタルデータ化して36分割したものに、希望する小中学校の児童・生徒がKIMOTOさん指導のもとタブレットを使って自由に彩色しました。会場となる「開かれたアトリエ」(亀岡市役所地下1階)では、学校ごとに36のデータを繋ぎ合わせて印刷した作品を展示するほかタブレット36台を使ってデジタルデータでも展示します。



途中経過を  
 ちょっとだけ!

ぜひ実際に  
 ご覧ください!

タブレットが36台ならんでいる光景は圧巻です!  
 まるで太陽の光がさしこむ  
 スタンドガラスの窓みたいです!



指やタッチペンで  
 塗っています!



参加校

安詳小学校(3年生) 東別院小学校(4・5・6年生)  
 曾我部小学校(5年生)  
 別院中学校(文化部) 南桑中学校(美術部)



## かめおか霧の芸術祭とは

霧の芸術祭  
 instagram



霧の芸術祭  
 home page

アートの力を活かした魅力あるまちを実現するために、かめおか霧の芸術祭実行委員会が2017年から取り組んでいます。美味しい農作物を作る農家や船頭さんも「芸術家」という考えのもと、芸術作品の展示だけではなく、1年を通して色々な取組を進めています。詳しくはかめおか霧の芸術祭 HP をご覧ください



## 作者 YUKO KIMOTOさんによる講演会

「こどもたちに アートで伝えたい亀岡の魅力」

日時 3月5日(土)10時30分~11時30分

場所 開かれたアトリエ(市役所地下1階)

※どなたでもお気軽に来場ください(事前申込不要)

※来場者多数の場合は入場制限をすることがあります



2020年  
 かめおか霧の芸術祭  
 出展作品「かめおか」  
 (教材となった絵画です)



現在2才の  
 息子のママです!

YUKO KIMOTO (ユウコキモト)

ロンドン芸術大学セントラルセントマーチズカレッジを卒業後、ロンドンからパリを中心に CELINE・CHANEL などグランメゾンでファッション・テキスタイル デザイナーとして活動した後に独立。デザイン・ブランディングのほか自身の世界観を表現する絵を描く。現在は拠点を京都に構え、かめおか霧の芸術祭にも参加している。